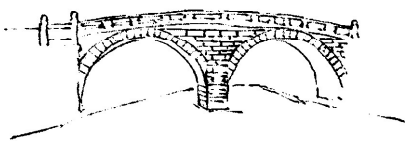



虫曼陀羅

宮坂静生



虫の音の干戈ぶつけてゐるごとし
怖しき虫の波濤の音に怯ゆ
四海みな狂ひだしたる虫ばかり
母さがしあぐねし虫の急せくこゑか
虫の音の引く垂線の錯雑よ
人体の幽閉さるゝ虫地獄
青松虫家ゆすりゐて人ほろぶ
蹠くに暁の虫鳴くわれせ杖せ
邯鄲の絹布濯げること止みぬ



粉々に鳴き果つる虫われはけ螻蛄ら
鈴振りか鉦打ちか虫巡礼は
轡虫聞かず曼陀羅織り疲れ
虫採りのすばしこき子の順に逝き
虫の音の退く東雲に來迎凶
亭人も晴子も虫の音と化すや
鑑真の厨子虫の音に浮きゐるか
ゴダールの死よかまきりの火へ入り
イギリスの喪
隙のなき虫の音女王崩御さる
ざあざあと虫鳴く蠍座の地平
蠍座を見よと流され後鳥羽院
遷幸八〇〇年